

令和2年度 京都市歴史資料館 評議委員会議

- 議 題
- 令和2年度事業報告説明
 - 令和3年度事業計画説明
 - 歴史資料館運営予算について

京都市歴史資料館 評議委員会議 配布資料

- 資料1 京都市歴史資料館評議委員名簿
- 資料2 京都市歴史資料館評議委員会議開催要綱
- 資料3 令和2年度事業報告
- 参考資料 別紙1 概要
- 参考資料 別紙2 利用状況
- 参考資料 別紙3 資料の収集状況
- 資料4 令和3年度事業計画（案）
- 資料5 京都市歴史資料館 歳入・歳出 予算・決算額 推移表
- 資料6 令和元年度京都市歴史資料館評議委員会議（書面）
評議委員からの御意見等

京都市歴史資料館評議委員名簿

令和2年4月1日現在

氏 名	役 職 等	専 門 分 野
荒木 かおり	川面美術研究所所長	彩色復元
宇佐美 英機	滋賀大学 名誉教授	日本近世史・経営史
片山 真理子	東京芸術大学美術学部附属古美術研究施設非常勤講師	美術史
坂本 博司	宇治市歴史資料館 前館長	地域史・食文化史
竹村 佳子	元学校歴史博物館 学芸員	生涯学習・社会教育
玉城 玲子	向日市文化資料館 館長	地域史・中世史
武川 寛	市民公募	

(敬称略, 50音順)

京都市歴史資料館評議委員会議開催要綱

(平成25年11月15日決定)

(趣旨)

第1条 京都市歴史資料館の展示、講座、調査研究その他の業務について、専門的な見地及び市民の立場から幅広く意見を求めることを目的として、京都市歴史資料館評議委員会議（以下「会議」という。）を開催する。

(委員)

第2条 会議に参加する委員は、学識経験のある者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が依頼する。

2 前項の規定により依頼する委員の人数は、7人以内とする。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会議の招集)

第4条 会議は、歴史資料館長（以下「館長」という。）が招集する。

(補則)

第5条 この要綱に定めるもののほか、会議の開催に関し必要な事項は、館長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、決定の日から施行する。

(経過措置)

2 平成27年3月24日までの間、会議の委員の人数は、第2条第2項の規定にかかわらず、10人とする。

3 この要綱の施行の際現に京都市歴史資料館評議員規則に基づく京都市歴史資料館

評議員である者は、この要綱の施行の日（以下「施行日」という。）に会議の委員として依頼されたものとみなす。この場合において、その依頼されたものとみなされる者の任期は、第3条第1項本文の規定にかかわらず、施行日における京都市歴史資料館評議員としての任期の残任期間とする。

令和 2 年度事業報告

1 展示

種 別	テ ー マ	期 間	入館者数	一日平均	内 容
【 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 2 年 4 月 7 日より 5 月 17 日の間（25 日間）、閉館 】					
特別展	叢書京都の史料刊行記念「京都摺物集成 江戸時代の京のにぎわい」 担当：吉住，野地，秋元	5.18～ 8. 2 (65 日間) ナイトミュージアム 5.22 (ギャラリートーク ギャラリートーク 6. 4	3,205 人 中止※ 中止※ 中止※	49.3 人	叢書「京都摺物集成 江戸時代の京のにぎわい」の刊行を記念し開催。この叢書に掲載されている大塚コレクションの摺物を中心に、江戸中期から明治初期までの京都の世相を紹介しました。
テーマ展	「京の地蔵盆」 担当：宇野，松中	8. 7～ 9.24 (41 日間) ナイトミュージアム 8.14 (ギャラリートーク ギャラリートーク 9.10	3,518 人 85 人 30 人 40 人	85.8 人	京都の夏の風物詩でもある地蔵盆。昨年度に中京区の下高倉町から地蔵盆関係資料一式の寄贈をうけたことから、当町の地蔵盆を復元し、併せて市内地蔵盆のさまざまな形態を写真資料や文献資料から紹介しました。
特別展	「鞍馬くらしと行事」 (京の暮らしの文化普及啓発実行委員会) 担当：野地，宇野	10. 2～ 1.17 (86 日間) ナイトミュージアム10.22 (ギャラリートーク ギャラリートーク11.15 ギャラリートーク12.24 ギャラリートーク 1.14	6,203 人 76 人 13 人 20 人 15 人 中止※	72.1 人	鞍馬寺の門前集落として、また洛北地域の中核集落の一つとして歴史を積み重ねてきた鞍馬をテーマに、炭商売などの日々のくらしや、竹伐り会や火祭などの行事に関する古文書、道具などを展示紹介しました。
特別展	「京都市の文化財展」 担当：文化財保護課 (窓口担当：松中)	1.22～ 3. 7 (39 日間) 絵画修理解説 1.30 ギャラリートーク 2. 5 オオサンショウウオ観察 2.14 子ども向けギャラリートーク 2.14 ギャラリートーク 2.19 ナイトミュージアム 3. 3 ギャラリートーク 3. 5	4,515 人 中止※ 中止※ 400 人 中止※ 中止※ 51 人 中止※	115.8 人	市内に所在する多くの文化財の中でも、京都の文化や歴史を知るうえで欠くことのできない、特に重要な文化財を、毎年「京都市の文化財」として指定・登録しています。その中から、平安時代から江戸時代初期にかけての美術工芸品の名品を中心に展示しました。 また、文化財等修理事業で修理された文化財について、その修復の過程や方法を紹介しました。
テーマ展	「京の歴史をつたえる 京都市歴史資料館名品展 2」 担当：井上	3.12～ 6.13 (77 日間) ギャラリートーク 3.28 ナイトミュージアム 4.13 (ギャラリートーク ギャラリートーク 5.11 ギャラリートーク 6. 8	- - - - -	-	歴史資料館では、「京都の歴史」に関わる資料を長年にわたって、調査・収集してきました。その多くは、市民や地域の団体の皆さまから御寄贈・御寄託をいただいたもので、古くから京都の歴史に関心を抱く方々が大切に保管されてきた貴重な資料ばかりです。 こうした収蔵資料の中から、歴史資料館の視点で選んだ名品を御紹介する企画として、中世から近現代までの収蔵品の数々を紹介しています。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(参考)

- ・会期中、原則毎月 1 回ギャラリートーク（30 分間程度）を行っている。
その内の 1 回は、20 時までのナイトミュージアム（夜間開館）の時間帯に実施している。
- ・第 1 回緊急事態宣言 令和 2 年 4 月 16 日～5 月 21 日（36 日間）
- ・第 2 回緊急事態宣言 令和 3 年 1 月 14 日～2 月 28 日（46 日間）

2 講座

講座名	開催月日	テーマ・内容	講師	受講者数
【 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月7日より5月17日の間（25日間）、閉館 】				
歴史講座	4. 11	特別展叢書京都の史料刊行記念「京のにぎわいー江戸時代の摺物ー」関連歴史講座	吉住	中止※
夏休み子ども歴史教室	8. 7	「京の地蔵盆」	宇野	9組18人
鞍馬 暮らしと行事関連歴史講座	10	未定	野地	中止※
鞍馬 暮らしと行事関連歴史講座	11. 26	シンポジウム「鞍馬の歴史・文化」	宇野, 野地	90人
歴史講座(京都アスニー共催事業)	3. 5	「史料は語る, 京都のひみつ」	宇野	167人
連続講座 「古文書を楽しく読もう！」	春期連続講座 5. 14~毎木4回	A組(入門編)13時 B組(中級編)15時	A組:宇野 B組:野地	中止※ 中止※
	秋期連続講座 10. 21~毎木4回	A組(入門編)13時 B組(応用編)15時	A組:秋元 B組:吉住	13時:47人 15時:48人
連続講座 「古文書に親しむ」シリーズ	6. 10/ 7. 8/ 11. 11/12. 9/ 2. 10/ 3. 10	楽しく古文書を読もう	宇野	各50人 2/10, 3/10⇒ 各100人
ギャラリートーク (ナイトミュージアムにて☆)	5. 22 ☆ 6. 4	「京のにぎわいー江戸時代の摺物ー」	吉住	中止※ 中止※
	8. 14 ☆ 9. 10	「京の地蔵盆」	宇野	30人 40人
	10. 22 ☆ 11. 15 12. 24 1. 14	「鞍馬 暮らしと行事」	野地	13人 20人 15人 中止※
	1. 30 2. 5 2. 14 2. 19 3. 5	「京都市の文化財展」	文化財保護課等	中止※ 中止※ 中止※ 中止※ 中止※
	3. 28 4. 13☆ 5. 11 6. 8	「京の歴史をつたえるー京都市歴史資料館名品展2ー」	井上	- - - -

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3 講師派遣（他機関主催講座等への出講）

講座名	月日	会場	テーマ・内容	講師	備考
アスニー学びのフォーラム山科	8.26	アスニー山科	京都のにぎわい-江戸時代の摺物の世界-	吉住	中止※
⇒「学びのフォーラムインターネット講座」に変更 演題：「江戸時代の京都のにぎわい-多彩なる「摺物」の世界-」 第一部「都のにぎわい」 第二部「祭礼のにぎわい」 第三部「幕末の動乱」 ・動画共有サイト「YouTube」にアップロードし、HPにリンクを張って配信予定					
京都府立鴨沂高等学校授業	9.26 11.7	鴨沂高校	歴史文化体験2	井上	
府民協働連続講座	10.	-	-	野地	中止※
アスニー京都学講座	10.17	京都アスニー	洛北・鞍馬のくらしや行事	野地	中止※

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4 原稿執筆

図書名	執筆内容	担当
京都市平安京創生館 図録	参考資料「重層する京都」平安京以降の京都（明治時代）	松中

5 資料の調査・収集・整理・保管・研究

京都の歴史に関する研究センターとしての役割を担うため、京都市域の歴史に関する古文書などの調査・収集に、大学等の外部研究機関とも連携して進め、収集資料の整理・保管・研究を行いました。

主な内容

（1）収集資料のデジタル化

歴史資料館に蓄積された多くの貴重な収蔵品について、目録・画像データのデジタル化を進め、検索を容易にし、最終的にはインターネット等において収蔵品の魅力の発信に努めます。

令和2年度は、400万円の予算を確保し、デジタル化のために必要な機材を整備するとともに、古文書等の目録・画像データの整備に着手しました。

【松中，井上】

（2）京都市の個人所有古文書調査事業の実施

個人所有の古文書調査は、目録の作成、高精細デジタル撮影による資料整理を行い、目録を刊行・公開することにより、資料の有効活用に加え、資料の散逸を防ぎ、将来的な資料の保存に努めることを目的とし、令和元年度より4ヵ年計画で、文化庁の「地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」の国庫補助を受け、大学教授らを中心とする京都市古文書調査会（歴史資料館職員も参加）に委託し、実施しています。

令和2年度は、「熊谷（純）家文書」の約900点を対象とするとともに、「下村（忠）家文書」約200点を対象に目録作成・撮影を実施しました。

【秋元】

(3) 今村家文書調査（世界人権問題研究センターと連携）

妙法院関係文書のデジタル撮影を行いました。

【秋元】

(4) 国文学研究資料館による画像データ作成

山本家典籍（京都市指定文化財）の貸出を行い，国文学研究資料館でスキニングの作業を行う予定にしていたが，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断しています。

【松中】

(5) 大谷大学による今江家文書調査

所蔵者の了解の下，大谷大学へ今江家文書を貸し出し，京都市の指定に向けた調査を行います。文書は大学博物館収蔵庫にて管理します。

【松中】

(6) 文化庁の興聖寺一切経調査

9月14日から16日，11月25日から27日にかけて実施され，歴史資料館からも調査に参加しました。

【野地，井上】

(7) 東京大学史料編纂所による岩倉具視関係資料調査

東京大学史料編纂所では，対岳文庫から京都市に寄贈された岩倉具視関係資料の本格調査・デジタル撮影を行う予定にしていたが，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断しています。

【松中】

(8) 京都女子大学母利研究室との連携による善峯寺・金蔵寺調査

8月27日，3月3日・4日に現地での資料調査を行いました。

【秋元，野地】

(9) 京都歴史文化施設クラスター実行委員会事業（あらゆる人々が参加できるプログラムの開発事業）への参画

地域の文化財の魅力発信，地域振興など，美術館・歴史博物館を中核とした関係機関との連携による文化クラスター創出に向けた取組を支援する文化庁の補助事業を活用した「京都歴史文化施設クラスター実行委員会」に参画しました。

【秋元，野地】

(10) 八瀬童子関係資料の修理

当館に寄託されている重要文化財八瀬童子関係資料の文書・記録類650点のうち，今年度26点の修理を行いました。

【宇野，松中】

(11) マイクロフィルムの修理

これまで地域や個人が所蔵する古文書をマイクロフィルムに撮影してきましたが、フィルムの一部は劣化が進んでいます。

そこで、フィルムの修理と複製フィルムの作成を行い、貴重な歴史資料の保存に努めました。

【松中】

6 歴史的公文書の調査・指定

歴史的公文書の調査及び指定、保管を行っています。

令和2年度追加文書 元離宮二条城事務所文書 50件

(参考)

指定件数 1,722件 (令和2年12月31日現在)

内訳：市参事会文書 156件、編入町村引継文書 573件、その他 993件

【秋元】

7 資料の供用・普及

収集・撮影した古文書などの資料及び所蔵する図書の公開を進めています。また市民の方からの歴史に関する相談に対応しています。(別紙2参照)

【歴史調査員】

8 研究紀要の刊行

歴史資料館における展示、講座や研究等の報告として、「京都市歴史資料館 紀要」(昭和59年6月創刊)を刊行しており、令和3年3月末に第29号を刊行いたします。

【秋元】

9 叢書京都の史料第14回配本「内裏図集成 一京都御所と公家町一」再版

当館の大塚コレクションを中心に国内外に所蔵されている内裏図を影印集成した本書、平成27年度に刊行し、即完売しました。

再版の要望が数多くあったことから、令和2年12月再版し、現在、好評販売中です。

【吉住】

10 情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」の運営

京都市内にある歴史的資源の情報を、情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」として、インターネットで発信しています。項目の追加・修正を中心に、サイトの運営を行っています。

11 博物館実習生の受入等

京都市内の各大学からの要請を受け、毎年夏季休業期間中に10名の定員で博物館実習生を受入れ、館員の指導による実習を実施しています。

令和2年度は、8月25日(火)から29日(土)の5日間を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止いたしました。

12 館内の整理・整頓等

開館より 38 年が経過し、収蔵庫は収蔵可能容量の限界が迫り、他の部屋は資料等で狭隘化した状態になっていました。

そこで、令和 2 年度の組織目標（文書整理・整頓等の着実な実施）に位置づけ、館内の整理・整頓に努めました。

収蔵庫は、収蔵品の整理による狭隘化の解消に努め、その他館内から出た不用品は、市指定業者に売却できる金属類は売却し、その他売却できなかった金属類はリサイクル業者に引き渡し、機密文書は市指定業者を通じ廃棄し、その他の紙類は廃品回収業者による処分等に努めました。

また、狭隘化を解消するために、当面利用が見込まれない資料を、外部倉庫に移動させました。

13 敷地の境界確定に向けた作業

歴史資料館の敷地は、昭和 48 年に、実業家山口玄洞氏から寄付を受けた仏教会館跡地に建設しておりますが、隣接地との境界確定が一部しかできていないことが判明したことから、残る隣接地との境界確定作業を進めました。

14 広報活動の強化

歴史資料館の入館者数は、令和元年度には 26,339 人となり、昭和 57 年の開館以来過去最高を記録しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、令和 2 年度は、令和 3 年 3 月 7 日現在で前年度比 27.9%と落ち込んでおります（閉館期間も含める。）。

そこで、これまで以上に広報を充実・強化させ、歴史資料館の認知度を高めるため、令和 3 年 1 月 8 日より歴史資料館専用の Facebook を開設したところであり、より一層の集客を図ってまいります。

このフェイスブックでは、展示会やイベントの紹介をはじめ、収集資料のうち京都の歴史を解明するために不可欠な資料を優先して解説・活字化した「叢書京都の史料」をこれまで 16 巻刊行しておりますが、これらを順次紹介するとともに、その他所蔵品を紹介することで、歴史資料館の魅力を広く広報していくことにしております。

京都市歴史資料館の概要

京都市歴史資料館 (昭和57年10月 設立)	
事業内容	京都市域の古文書を中心とした歴史資料の収集・保存・調査・研究・公開
収集資料	<ul style="list-style-type: none"> ・一般資料 (古文書) : 約128,310点 ・写真複写 (古文書) : 約2,135,700コマ ※2年度～デジタル化 : 約6,000点 ・マイクロフィルム (新聞) : 約1,240,000コマ ・歴史一般図書 : 56,756冊 ・美術工芸品, 民俗資料 : 約210点
調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ・史料叢書の出版 ・研究紀要の発行
公開事業	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ展示, 企画展示, スポット展示 ・DVD映像 ・市民対象の各種講座 ・図書, 資料の閲覧 ・歴史相談 ・情報システム「フィールドミュージアム京都」発信
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都市政史」及び「叢書 京都の史料」編さん等を通して, 積極的に資料収集を行ってきたが, その中心となるのは文献資料である。 ・調査・研究を積極的に行っている。
施設状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地上2階・地下1階 ・ 敷地面積 1,183 m² ・ 延床面積 2,016 m²

(令和2年12月31日現在)

歴史資料館の利用状況について

年度	年度合計			土日関係			閲覧件数			相談件数			
	入館者数	開館日数	1日当り	入館者数	開館日数	1日当り	件数	図書	古文書	件数	電話	来館	郵便
25	25,050	288	87	10,841	97	112	939	700	239	581	319	237	25
26	15,711	289	54	5,824	97	60	987	700	287	618	356	241	21
27	17,398	288	60	7,126	100	71	1,228	913	315	969	496	452	21
28	21,957	286	77	9,948	101	98	1,440	1021	419	799	427	353	19
29	20,096	285	71	8,764	99	89	1,200	871	329	710	392	303	15
30	18,730	283	66	8,028	96	84	1,201	893	308	623	338	277	8
元	26,339	280	94	10,373	94	110	1,178	775	403	568	272	282	14
元 (4~2)	24,664	261	95	9,712	87	112	1,099	721	378	536	252	272	12
2 (4~2)	17,787	236	75	7,010	82	86	702	448	254	466	284	162	20

※ただし、入館者数は3月7日までの統計

【参考】前年度比 数値比較 … 2度/元年度

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| ○ 入館者数 | 27.9%減 | ○ 土日入館者数 | 27.8%減 |
| ○ 閲覧件数 | 36.1%減 | ○ 相談件数 | 13.1%減 |

※平成25年度入館者数増の要因

特別展「岩倉具視の幕末維新」及び
平成25年のNHK大河ドラマ「八重の桜」の
効果による。

歴史資料館ホームページアクセス数

年度	トップページ	1日当たり
27	40,731	112
28	53,478	147
29	69,874	191
30	83,314	228
元	99,021	271
元 (4~2)	92,650	277
2 (4~2)	60,804	182

【参考】前年度比 数値比較 … 2年度/元年度

※令和元年度入館者数増の要因

特別展「京都市指定の文化財」及び
令和2年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の
効果による。

34.4%減

京都市情報館ホームページ作成支援システムアクセスカウント数 **※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月7日より5月17日の間(25日間)、閉館**

歴史資料館の利用状況について

【平成31年4月7日より令和元年5月17日の間、閉館していたと想定した場合】

年度	年度合計			土日関係			閲覧件数			相談件数			
	入館者数	開館日数	1日当り	入館者数	開館日数	1日当り	件数	図書	古文書	件数	電話	来館	郵便
元 (4~2)	22,924	234	98	9,008	78	115	976	642	334	481	225	245	11
2 (4~2)	17,787	236	75	7,010	82	86	702	448	254	466	284	162	20

※ただし、入館者数は3月7日までの統計

【参考】前年度比 数値比較 … 2度/元年度

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| ○ 入館者数 | 22.4%減 | ○ 土日入館者数 | 22.2%減 |
| ○ 閲覧件数 | 28.1%減 | ○ 相談件数 | 3.1%減 |

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月7日より5月17日の間(25日間)、閉館

資料の収集状況について

1 館蔵資料の受入れ状況

(受入れ件数は、R2.12.31 現在)

	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	総 数
一次資料 (古文書)	約 1,300	約 30,000	約 1,400	約 610	—	約 128,310 点
写真複写 (古文書) ※2 年度～デジタル化	約 3,900	約 5,000	約 5,000	約 5,000	— 約 6,000	約 2,135,700 コマ 約 6,000 点
マイクロフィルム・ デジタルデータ (新聞)	約 20,000	約 20,000	約 20,000	約 20,000	約 20,000	約 1,240,000 コマ
図 書	298	195	211	213	247	56,756 冊
美術工芸品等	絵画, 屏風, 秤, 枺, 町旗, 籠, 消火器, つづら, 祭具等					約 210 点

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、鑑定評価委員会が開催できなかったため、一次資料 (古文書) 等の受入れは無い。

2 収蔵資料文化財指定の状況

	件数	点数	内 訳
重要文化財	5 件	3,900 点	兵庫北関入船納帳 1 冊 福井家旧蔵京枺座関係資料 2,139 点 八瀬童子関係資料 741 点 岩倉具視関係資料 1,018 点 古今和歌集 下 1 冊
市指定・登録文化財	25 件	13,201 点	岩倉具視関係資料 109 点 賀茂季鷹関係典籍類 1,268 点 京都市参事会文書 158 点 等

3 寄付受納物件 (過去 5 年間)

年 度	品 名	数 量	寄 贈 者
平成 28 年度	古文書	約 280 点	大野 氏隆
	古文書・制札	約 500 点・3 点	徳田 正彦
	衣装・制札	17 点・2 点	中村 勇
	古文書	1 点	石塚 晶子
	和本・漆器	8 点	五十嵐 高明
	古文書・書画	478 点	山下 信子
	古文書	約 40 点	遠藤 慶子

平成 29 年度	古文書など	約 60 点	杉村 正臣
	古文書	約 30,000 点	田中 子朗
	古文書	11 点	田村 昌巳
	絵図	2 点	上田 壽一
	絵はがき	7 点	雁瀬 一郎
	古文書	1 点	倉内 仁
	古文書	7 点	岩佐 敦子
	古文書・看板	1 点・4 点	西田 俊一
	古文書・木箱	44 点・1 箱	武内 一樹
	掛軸・短冊	66 点	澤井 多年夫
平成 30 年度	古文書	1 点	鹿谷 逸郎
	古文書	2 点	中井 博一
	古文書	約 50 点	大嶋 正博
	古文書・書画・版本	40 点	福田 叡子
	図面・書類など	約 260 点	間野 嘉津子
	鉢巻・地図	5 点	藤野 正弘
	和菓子関係道具類	118 点	杉谷 禎治
	版本・洋装本・写本	924 点	西山 洋
	額	2 点	大岡 千鶴子
令和元年度	絵葉書集など	8 点	文寿 誠二
	胸像	1 点	大野 茂
	写真など	140 点	山根 涉
	図書	1 点	山添 敏文
	古文書・装束など	約 60 点	小西 弘泰
	絵図	1 点	田中 良夫
	絵葉書	10 点	中野 繁成
	地藏盆飾り・祠	一式・1 棟	下高倉町
	地藏盆前掛など	4 点	本能寺町
	陣笠・肖像・書状など	約 50 点	後藤 欣哉
	古文書	165 点	門田 邦代
	古文書など	154 点	福屋町内会
	カメラ・レンズ・アルバム	7 点	塩見 昌平
令和 2 年度	—	—	—

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、鑑定評価委員会が開催できなかったため、寄付受納物件は無い。

令和3年度事業計画（案）

1 展示

種 別	題 材	会 期	内 容	目標入場者数
テーマ展	「京の歴史をつたえる —京都市歴史資料館名品 展2—」 担当：井上	3. 12～ 6. 13 (77 日間) (令和3年度61日間) ギャラリートーク 3. 28 ナイトミュージアム 4. 13 (ギャラリートーク) ギャラリートーク 5. 11 ギャラリートーク 6. 8	歴史資料館では、「京都の歴史」に関わる資料を長年にわたって、調査・収集してきました。その多くは、市民や地域の団体の皆さまから御寄贈・御寄託をいただいたもので、古くから京都の歴史に関心を抱く方々が大切に保管されてきた貴重な資料ばかりです。 こうした収蔵資料の中から、歴史資料館の視点で選んだ名品を御紹介する企画として、中世から近現代までの収蔵品の数々を紹介します。	令和3年度 5,490人 (1日平均約90人)
企画展	「こんにちは京都市電 —“京都市電関係資料”を ひもとく—」 (京都市文化財保護課・京 都市電関係資料調査会監 修、京都市交通局ほか) 担当：野地	前期：6. 18～ 8. 29 (61 日間) 【子供向け】 後期：9. 3～11. 7 (57 日間) 【大人向け】	令和3年春、京都市電の公文書「京都市電関係資料」が京都市指定有形文化財となりました。電車・トロリーバスの新造や改造、路線の敷設や撤去、戦時中のこと、京都の景観や祇園祭にかかわることなどのなかから、いくつかの簿冊をとりあげ、関連する資料とそれにまつわる今昔の地図、古写真をあわせて展示します。市営地下鉄開業40周年となる本年、市電資料をひもとき、ふたたび京都市電に出会う機会とします。	12,980人 (1日平均約110人)
特別展	岩倉使節団出発150年記念 「岩倉具視と米欧回覧」 担当：松中	11. 12～令和4. 1. 16 (51 日)	2021年は、明治政府がアメリカ・ヨーロッパ諸国に派遣した使節団が日本を出発してから150年にあたります。岩倉具視はこの使節団の特命全権大使をつとめました。 ペリー来航と開国から、幕末の政争を経て、明治国家の出発に至る激動の時代において、岩倉はどのような対外関係のあり方を描いていたのでしょうか。また、米欧回覧で得た経験を、岩倉はその後の日本にどう生かそうとしたのでしょうか。 重要文化財「岩倉具視関係資料」などの史料から紹介します。	5,100人 (1日平成約100人)

企画展	「村のサムライたち」(仮題) 担当：井上	1. 21～4月 (令和4年度58日間)	明治時代までの京都は、市街地の四周を農村が囲んでいました。その村々のなかには、「郷土」と呼ばれる人々が暮らしていたところもありました。百姓でありながら、武士としての側面ももっていた「郷土」のようすを、主に古文書によって紹介します。	令和4年度 5,220人 (1日平均約90人)
-----	-------------------------	-------------------------	---	-------------------------------

※令和3年度入場者数の目標値は、過去最高実績値である26,339人(令和元年度)とする。
なお、令和元年度までの目標値は、平成25年度の過去最高実績値であった25,050人である。

2 講座等

講座名	開催月日	テーマ・内容	会場	講師
夏休み子ども歴史教室	8.13	「京都市電」(仮)	新島会館	文化財保護課
シンポジウム	-	「京都市電」(仮)	新島会館	選定中
歴史講座	-	特別展 岩倉具視使節団出発150年記念 「岩倉具視と米欧回覧」	新島会館	松中
連続講座 「古文書を楽しく読もう！」	春期連続講座 5.19～毎水4回	A組(初級編「古文書入門」) 13時 B組(中級編「洛中寄宿仲間関係文書 を読む」) 15時	新島会館	井上 野地
	秋期連続講座	A組(初級編) 13時 B組(中級編) 15時	新島会館	吉住 松中
ギャラリートーク	-	「京都市電」	歴史資料館	文化財保護課
	-	岩倉使節団出発150年記念 「岩倉具視と米欧回覧」	歴史資料館	松中
	-	「村のサムライたち」(仮題)	歴史資料館	井上

3 講師派遣(他機関主催講座等への出講)

講座名	期日	会場	テーマ・内容	講師	
アスニー学びのフォーラム山科	-	アスニー山科	-	選定中	
アスニー京都学講座	-	京都アスニー	岩倉具視関連	松中	
京都府立鴨沂高等学校授業	-	鴨沂高等学校	-	井上	
京都学歴彩館との連携	京都学歴彩館 ミニ講座 ※京都市共催	8.5	歴彩館	京都市電関係資料について 未定 未定 未定	山下絵美
		8.12			加藤幸弘
		8.19			遠藤晃一
		8.26			大菅直
	京都学歴彩館 ミニ講座 ※京都市共催	12.2	歴彩館	岩倉具視関連	松中

4 歴史を訪ねる街あるきツアー

企画展「こんにちは京都市電 ― “京都市電関係資料” をひもとく ―」の開催に合わせ、歴史資料館の周辺の市電が走っていた面影（寺町線・鴨東線）をたどるツアーを開催する。

5 資料の調査・収集・整理・保存・研究

京都の歴史に関する研究センターとしての役割を担うため、京都市域の歴史に関する古文書などの調査・収集に、大学等の外部研究機関とも連携して進め、収集資料の整理・保管・研究を行っています。

(1) 収蔵資料のデジタル化事業

歴史資料館に蓄積された多くの貴重な収蔵品について、目録・画像データのデジタル化を進め、検索を容易にし、最終的にはインターネット等において収蔵品の魅力の発信に努めます。

令和3年度は、京都市の危機的な財政状況のもとでの行財政改革の影響もあり、予算の継続的確保はかなわなかったが、令和2年度にデジタル化のために必要な機材が確保できたことから、歴史調査員自らが対応件数は限られるものの古文書等の目録・画像データの整備を引き続き進めます。

【松中，野地，井上，尾下】

(2) 京都市の個人所有古文書調査事業の実施

個人所有の古文書調査は、目録の作成、高精細デジタル撮影による資料整理を行い、目録を刊行・公開することにより、資料の有効活用に加え、資料の散逸を防ぎ、将来的な資料の保存に努めることを目的とし、令和元年度より4ヵ年計画で、文化庁の「地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」の国庫補助を受け、大学教授らを中心とする京都市古文書調査会（歴史資料館職員も参加）に委託し、実施しています。

令和3年度は、2年度に引き続き「熊谷（純）家文書」及び「下村（忠）家文書」を対象に目録作成・撮影を進めます。

【秋元】

(3) 国文学研究資料館による画像データ作成

山本家典籍（京都市指定文化財）の貸出を行い、国文学研究資料館でスキャンニングの作業を行います。

【松中】

(4) 大谷大学による今江家文書調査

所蔵者の了解の下、大谷大学へ今江家文書を貸し出し、京都市の指定に向けた調査を行います。文書は大学博物館収蔵庫にて管理します。

【松中】

(5) 文化庁の興聖寺一切経調査

歴史資料館からも調査に参加します。

【野地，井上】

(6) 東京大学史料編纂所による岩倉具視関係資料調査

東京大学史料編纂所では、対岳文庫から京都市に寄贈された岩倉具視関係資料の本格調査・デジタル撮影を行う予定にしています。

【松中】

(7) 京都女子大学母利研究室との連携による善峯寺・金蔵寺調査

現地での資料調査を行います。

【秋元，野地】

(8) 京都造形芸術大学伊達研究室・京都産業大学村上研究室による当館収蔵民俗資料の整理

当館寄託神家京秤座関係資料の整理・調査を実施します。

【松中】

(9) 京都歴史文化施設クラスター実行委員会事業（あらゆる人々が参加できるプログラムの開発事業）への参画

地域の文化財の魅力発信，地域振興など，美術館・歴史博物館を中核とした関係機関との連携による文化クラスター創出に向けた取組を支援する文化庁の補助事業を活用した「京都歴史文化施設クラスター実行委員会」に参画しています。

令和3年度は，京都アスニーと共同で，平安京復元模型音声ガイドシステムの構築に取組み，各種関連事業を実施します。

【野地】

(10) 八瀬童子関係資料の修理

当館に寄託されている重要文化財八瀬童子関係資料の文書・記録類650点のうち，令和3年度分の修理を行います。

【松中】

6 「京都祇園祭の山鉾行事」歴史資料調査事業への協力

山鉾連合会は，2023年に設立100周年を迎えることから，近代の祇園祭の資料調査を行い，その研究成果を蓄積し，記念誌などを作成されます（令和2年度から6年度の5ヵ年事業）。

このうち，山鉾町関連資料や八坂神社関連資料の調査に協力します。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため作業開始が遅れ，令和3年度から本格的に調査を実施することになります。

【野地：山鉾町関係，吉住：八坂神社関係】

7 歴史的公文書の調査・指定

歴史的公文書の調査及び指定を行います。

(参考)

指定件数 1,722 件（令和2年12月31日現在）

内訳：市参事会文書 156 件，編入町村引継文書 573 件，その他 993 件

【秋元】

8 資料の供用・普及

収集・撮影した古文書などの資料及び所蔵する図書の整理・公開を進めます。また市民の方からの歴史に関する相談に対応します。

【歴史調査員】

9 「叢書 京都の史料」の刊行

歴史資料館では長年の市史編さん事業等を通じて収集した膨大な古文書類の保存及び調査研究を進めているが、これらの中で京都の歴史を解明するために不可欠な資料を優先して解読・活字化し、市民や研究者の利用に供していくことを目的として、「叢書 京都の史料」を編さん刊行しています。

令和3年度は、叢書京都の史料第17回配本「京都市都市計画参考図集成」を刊行します。

【秋元】

10 「叢書 京都の史料」の再版

歴史資料館の古文書調査の成果をもとに、史料集の刊行を行ってまいりましたが、人気が高く完売し、要望の高い叢書を再版します。

平成23年度刊行の第12回配本「禁裏御倉職立入家文書」及び平成29年度刊行の第15回配本「久多荘文書」を予定しています。

【野地】

11 情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」の運営

京都市内にある歴史的資源の情報を、情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」として、インターネットで発信しています。項目の追加・修正を中心に、サイト運営を行います。

【井上】

12 博物館実習生等の受入

京都市内の各大学からの要請を受け、博物館実習生を受け入れ、館員の指導による実習を実施します。

・博物館実習 令和3年8月 詳細未定

【秋元】

13 資料の活用等についての検討

収蔵資料活用のための整理とともに、収蔵スペースの狭隘化への対応として、引き続き、外部倉庫を活用した一時保管等を進めるとともに、施設の運営手法の最適化についても検討を進めます。

14 広報活動の強化

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり落ち込んでいる入館者数の改善を目指し、令和2年度に引き続き、Facebookを活用した集客増加策等を進めます。

京都市歴史資料館 歳入・歳出 予算・決算額 推移表

[歳入]

	3年度		2年度		元年度		30年度		29年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
刊行書籍販売	1,702	-	1,702	-	502	298	502	787	502	298
資料コピー料金	300	-	300	-	300	274	300	262	300	270
古文書講座受講料	768	-	384	-	384	368	384	354	384	366
補助金等	1,000	-	1,000	-	1,000	1,000	3,500	3,100	3,200	369
	京都市の古文書調査事業		京都市の古文書調査事業		京都市の古文書調査事業		明治150年記念事業「いま明治を考えるプロジェクト」		鴨川・高瀬川地域の歴史遺産継承・活用事業	
画像利用料	316	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	4,086	-	3,386	-	2,186	1,940	4,686	4,503	4,386	1,303

[歳出]

(単位：千円)

	3年度		2年度		元年度		30年度		29年度		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	
管理運営	一般経費	13,987	-	13,987	-	13,844	12,297	14,555	13,449	14,991	13,804
	特別経費	2,050	-	2,000	-	2,000	1,978	7,000	6,361	3,200	369
		京都市の古文書調査事業		京都市の古文書調査事業		京都市の古文書調査事業		明治150年記念事業「いま明治を考えるプロジェクト」		鴨川・高瀬川地域の歴史遺産継承・活用事業	
	特別経費	1,000	-	1,000	-	2,100	1,981	-	-	-	-
		資料叢書編さん		資料叢書編さん		ICOM京都大会連携京都市の文化財展		-		-	
	特別経費	-	-	2,800	-	-	-	-	-	-	-
		-		京都市の文化財展		-		-		-	
	特別経費	-	-	4,000	-	-	-	-	-	-	-
-		歴史資料館収蔵資料のデジタル化等		-		-		-			
計	17,037	-	23,787	-	17,944	16,256	21,555	19,810	18,191	14,173	

※文化市民総務費を除く

令和元年度 京都市歴史資料館評議委員会議（書面）
評議委員からの御意見等

1 評議委員

荒木かおり，宇佐美英機，片山真理子，坂本博司，竹村佳子，玉城玲子，武川寛

2 御意見等

(1) 全体

・評価する。

少ない予算で良く頑張っている(成果を出している)と評価する。

・令和元年度事業について（良い循環が築けている等）

館所蔵あるいは地域の資料で構成される展示内容は，博物館の本来の姿であるともいえ，市民の期待に応え，関心に沿うものである。

展示テーマも，館所蔵名品展，指定文化財の披露，子供向け事業，周年事業，話題の大河ドラマ関連とバランスがよく，過去最多の入館者数を記録したのは評価されるべき成果である。

地道な調査や文化財保護の活動成果をうまく利用して展覧会を運営することで，良い循環が築けている。

京都アスニーや考古資料館とも連携が進んでおり，実質的な充実が図られている。

(2) 施設・体制の整備

・歴史・文化全体を網羅した施設の設置

京都市内には，歴史資料館の他，考古資料館，平安京創生館（京都アスニー），学校歴史博物館と散在しており，京都市独自にその歴史・文化全体を俯瞰する施設がない。是非設置してほしい。

・科学研究費が申請できるような体制整備(博物館相当施設の認可取得)

中長期的には博物館相当施設として認可を受け，研究者番号を付与された学芸員・研究員を充足させ，科学研究費の助成申請ができる体制を整備する必要がある。

・歴史資料館運営予算について（資料の量に見合った人材の配置）

大規模施設を持たないからか，携わる人員の絶対数が極端に少ない。

真に歴史を活かした未来を築くために，埋もれている資料，保全すべき資料の量に見合う人材の配置をすべきである。

・**収蔵庫の拡充**

できるだけ早く、収蔵庫の拡充を願う。

(3) **デジタル化**

・**資料の電子映像化の推進**

収蔵品の保存・公開は、IT化を進めるため予算の増額を働きかける必要があるが、文化庁だけでなく、総務省や民間企業の財団などに協力を仰ぐことも可能である。

・**デジタル・アーカイブの実施**

収蔵・公開している文書の目録をPDF化しHPに掲載してほしい。毎回、紙媒体の文書目録を確認し、閲覧したい史料を請求するのは煩瑣である。

・**デジタル・アーカイブ事業の推進**

古文書128,310点という膨大な資料のデジタル・アーカイブ事業は大がかりになる。計画的に進めていただきたい。京都の歴史的財産が世界中の誰もが共有できるものになるのが望まれており、それを実現するのが資料館の使命である。

・**未整理の保管資料の目録作成・公開(大学との協同による推進)**

未整理のまま保管している文書群は、史料目録を作成し公開に供するという体制を立ち上げるべきである。この作業は、歴史講座を有する大学が京都にはいくつもあり、教員の協力を得て研究指導の一環として協同で実施することも検討すべきである。

(4) **公開・閲覧**

・**市史編纂において収集した他機関所蔵資料(マイクロ写真)の公開・閲覧**

市史編纂の過程で収集している他機関所蔵資料(マイクロ写真)は、先方の許可を得て資料館で公開・閲覧できるようにしてほしい。

例えば東京大学法学部法制史資料室で収集した資料の写真を所蔵しているが、一般公開されていない。東大からは「歴史資料館で閲覧に供してもらってもいいのです。」と言われ、私に閲覧許可証を発行してくれたが、閲覧できなかった。

また、私が所蔵している近世京都に係る原史料を、全点貴館に撮影をしてもらった。原蔵者の公開許可申請はらないとお願いしたが、許可されていないのは不本意である。

(5) **その他**

・**新たな刊行事業の実施**

開館以来、刊行事業を中心とした施設というイメージがある。京都は、テーマがいくらでもあり、焦点がしぼりにくい、新たな刊行事業を進めていただきたい。

・ **展示について（立体展示の多用，PR の推進）**

展示に関しては立体物がメインの方が，分かりやすく，一般向けする。

もっとポスター等でアピールしてはどうか。

・ **歴史資料館のPR の推進**

歴史資料館の存在を国内外からの京都の観光客に知ってもらうべきである。

展示会ごとの資料は，解説内容も紙質も他の美術館・博物館より勝るものである。例えば100円で有償化し，その分でリーフレットを作成し，美術館や博物館などでPRしてはどうか。

また，来館者が，固定層が中心である。一般来館者の多くは，展示資料の鑑賞のみなので，資料の閲覧についてもPRの必要がある。

・ **館外でのイベントの実施**

館外に出る催しがあってよい。例えば，一つのジャンルに絞り，史跡など解説を交えて見て歩くなど。

・ **社会科教育の一環としての歴史資料館の活用**

小学校高学年・中学生等の社会科教育の一環としての歴史資料館を活用してはどうか。

・ **考古資料館，学校歴史博物館との展示等の協同開催**

考古資料館，学校歴史博物館と協同で展示等を解説する機会を設けてはどうか。京都市の歴史を通観できる。

・ **積極的な資料収集の実施**

世代交代，町屋の建替え・取り壊しが進む中，歴史資料館への寄贈，問い合わせについて積極的な広報が必要である。市民しんぶん，地下鉄，市バスへの掲示等積極的に取り組んでほしい。貴重な資料が失われることがあってはならない。